

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年9月25日（木）

2 確認箇所

- ・瓦礫類一時保管エリアN（図1）
- ・1号機原子炉建屋（1／2号機高圧開閉所）（図1）

3 確認項目

- （1）瓦礫類一時保管エリアNの状況
- （2）1号機原子炉建屋大型カバー設置状況

4 確認結果の概要

（1）瓦礫類一時保管エリアNの状況

東京電力は水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物の屋外における一時保管を令和10年度中に解消することを目指している。その一環として、瓦礫類一時保管エリアN（以下「エリアN」という。）においてノッチタンクに保管されている汚染土壌※を別の保管容器に入れ替え、固体廃棄物貯蔵庫へ運搬する計画としている。

6月末からエリアNにおける作業が開始されたことから、当該エリアの状況を確認した。（前回確認：令和7年8月8日）

- ・エリアN南西側において、作業箇所の屋根が外されており、ノッチタンクから汚染土壌を運び出す作業を実施していた。（写真1）
- ・汚染土壌の入れ替え作業が行われているノッチタンクは、内容物が飛散しないように上部がネットで覆われていた。（写真2）
- ・作業員はお互いに声を掛け合い、高所作業者においてはフルハーネス墜落制止用器具を使用しており、安全対策が徹底されていた。（写真3）
- ・確認した範囲において、ノッチタンクからの内容物等の漏えいはなかった。

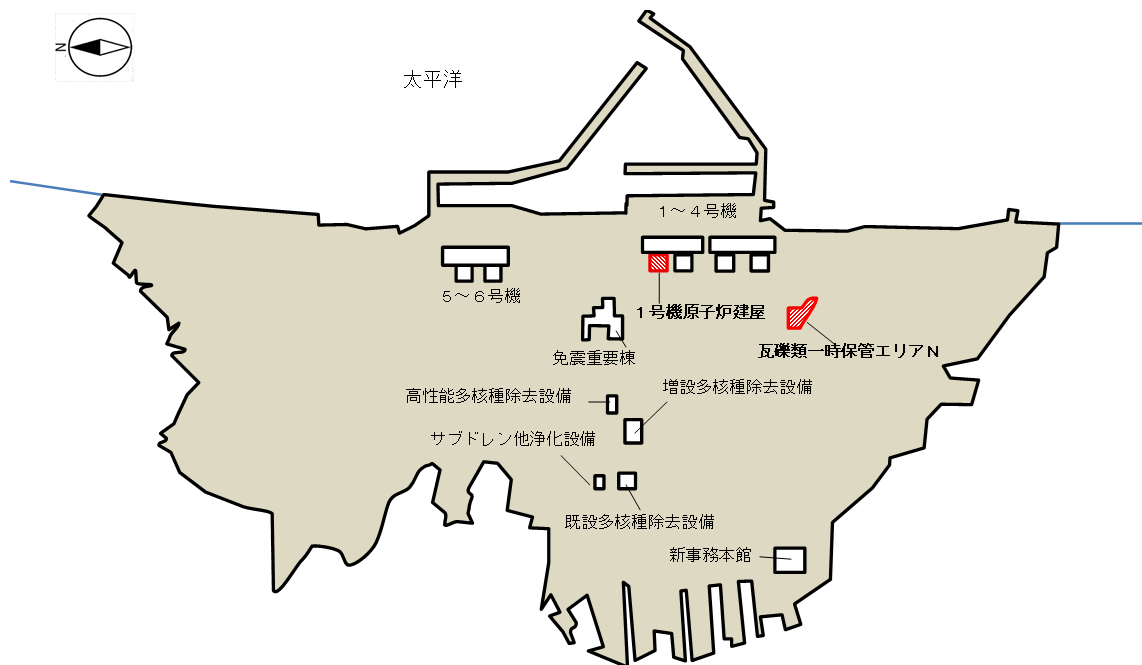
※平成25年及び平成26年に発生したタンクエリアからの汚染水漏えいにより汚染した土壌。これらの土壌は土のう袋に回収され、ノッチタンクに入れて保管されている。

（2）1号機原子炉建屋大型カバー設置状況

1号機原子炉建屋からの使用済燃料取り出しは、建屋全体を覆う大型カバーの設置後に実施する計画としており、現在、大型カバー設置工事のうちボックスリング及び可動屋根の設置作業が行われている。

一方、令和7年6月16日にクローラークレーン（以下「クレーン」という。）でボックスリングを1号機原子炉建屋東側へ設置している際に、クレーンの巻き下げ操作ができない事象が発生した。また、同月27日にはクレーンのバランスをとる重りを調整するシリンダーの動作不良が確認されたため、一時的に設置作業を中断した経緯がある。これら不具合に対する原因究明及び対策が講じられ、7月19日に作業再開となっていることから、今回も作業が継続している大型カバー設置の状況について確認した。（前回確認：令和7年8月26日）

- ・西側の一部を除き、上部架構の設置が完了していた。（写真4）
- ・建屋南側のボックスリングの設置が完了し、建屋西側以外のボックスリングの設置が進められていた。（写真5）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真1－1）
エリアN外観①
※北西側から撮影



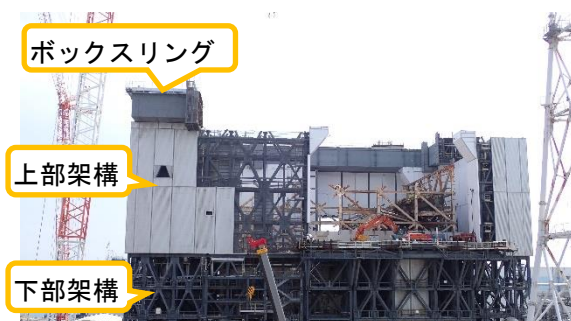
(写真 1－2)
エリアN外観②
※南西側から撮影



(写真 2)
入れ替え作業中のノッチタンク



(写真 3)
汚染土壌運び出し作業の状況

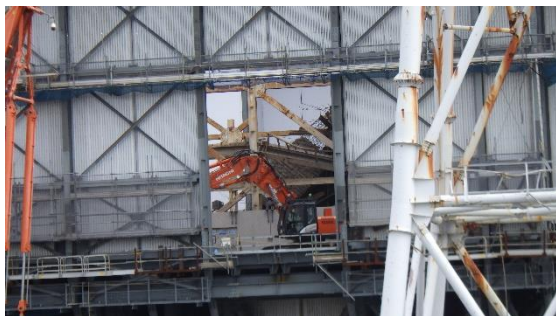


(写真 4－1)
大型カバー全景①
(令和 7 年 8 月 2 6 日撮影)

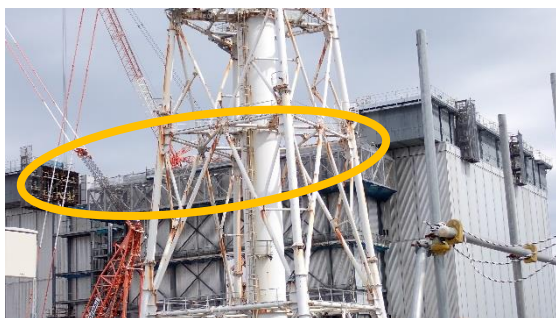
下部架構



(写真 4－2)
大型カバー全景②
(令和 7 年 9 月 2 5 日撮影)
※西側の開口部を除き上部架構の
設置が完了



(写真 4－3)
上部架構開口部の状況



(写真 5)
ボックスリングの設置状況
※西側のみ未設置

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。